

基本方針 I		施策2 未来を見据えた特色ある学びを推進する					
重点事業7	町田市の未来の学びLab	所管課	指導課				
目的	学力向上や体力向上等の町田市の教育施策をより効果的なものとするために、教育分野に限らず様々な専門分野から子どもをとらえる研究を行います。						
事業概要	<p>●児童生徒の学習上での課題に対して、教育分野の専門家だけでなく、子どもの学びに関する研究を進めている様々な分野の研究者に協力を仰ぎ、課題を深く調査研究できる体制を構築します。</p> <p>●従来の学力調査等の一般的なテストでは、子どもたちが「どこでつまずいた」のかはわかって「なぜつまずいた」のかはわかりませんでした。一人ひとりの子どもたちの「つまずき」の原因を探るため、教育委員会が主体となって調査研究をします。さらに、調査研究の結果や情報を教員が子どもたちの学習や学校生活全体での指導や支援に活用できるようにします。</p> <p>●これまでの教育施策はそれぞれの目標ごとに別々の取組を進める傾向がありましたが、「学力と体力」、「学力とキャリア教育」など、教育施策間の相関関係や相乗効果に関する研究を行います。</p> <p>●これまで町田市が進めてきたICT教育や協働(共同)的な学びは、今後の町田市の教育においても中心的な施策となります。そのため、ICTを活用した町田市立小・中学校の授業や協働(共同)的な学びを行うこれからの学校の在り方についても研究を行っていきます。</p>						
活動指標と工程表	活動指標	現状 2022年度	工程表				
			2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	②児童生徒の「つまずき」の原因とその解消に関する研究		現状把握・研究内容の決定	実証研究	実証研究・効果検証	科学的根拠の確立・教育施策検討	「つまずき」に関する施策立案
指標の達成状況	▶	—	研究内容決定	研究実施	研究実施・効果検証	根拠確立・施策検討	施策立案
③教育施策間の相関関係や相乗効果に関する研究(学力・体力向上、キャリア教育、協働的な学習等)			現状把握・研究内容の決定	実証研究	実証研究・効果検証	科学的根拠の確立・教育施策検討	
指標の達成状況	▶	—	研究内容決定	研究実施	研究実施・効果検証	根拠確立・施策検討	
社会環境の変化等の背景	<p>本事業を推進するに当たり、③のように多岐にわたる相関関係については、国や都においても明らかにしておらず、次期学習指導要領に向けて、教科・領域に関わらず、多様な子どもに対応する「個の学び」の重点化を図っています。以上のことを踏まえると、②と③を分けて事業を推進していくのではなく、まずは②の「つまずき」の原因とその解消に関する研究に注力し、子どもたちの学習や学校生活全体での指導や支援に活用できるようにすることが求められています。併せて2028年度以降を見据え、生成AIの活用についても国や都の動向を注視しながら、授業改革及びICTを活用した学びの充実と連携を図り、段階的に進めていく必要が生じています。</p>						
今後の取組の方向性	<p>本事業では、子どもたち一人ひとりの「つまずき」を単なる結果として捉えるのではなく、その背景にある「原因」に光を当てた調査研究を研究機関等と協力しながら推進するものです。背景にある「原因」を探るためには、より子どもたちを多角的に捉える必要があります。また、次期学習指導要領の方向性に即したより実効性の高い具体的な授業像を明らかにし、教員が子どもたちの学習や学校生活全体での指導や支援に活用できるようにしていく必要があるため、2つの指標を1つに集約し進めていきます。</p>						
修正後の内容	活動指標	現状 2022年度	工程表				
			2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	②児童生徒の「つまずき」の原因とその解消に関する研究		現状把握・研究内容の決定	実証研究	実証研究・効果検証	実証研究・効果検証	実証研究・効果検証
指標の達成状況	▶	—	研究内容決定	研究実施	研究実施	研究実施	研究実施